高圧洗浄機 10/100G

取扱説明書

【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

IM1501

安全にご使用いただくために

このたびは、当社の高圧洗浄機 10/100G をお買い上げいただきましてありがとうございます。

- ●この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- ●ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- ●適切な取り扱いで本機の性能を充分発揮させ、安全な作業をしてください。
- ●本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- ●本機を使用用途以外の目的で使わないでください。
- ●商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
  - ・ご注文の商品の仕様と違いはないか。
  - ・輸送中の事故等で破損、変形していないか。
  - ・付属品等に不足はないか。

万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。（本書記載内容は改良のため、予告なしに変更することがあります。）

警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、３つのレベルに分類されます。

本機に接触または接近する使用者、第三者等がその取り扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状態。

本機に接触または接近する使用者、第三者等がその取り扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。

本機に接触または接近する使用者、第三者等がその取り扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、軽症または中程度の障害を招く可能性がある危険な状態。または、本機に損傷をもたらす状態。

記号

 爆発

 ガス注意

 高圧水

 火災

 火気厳禁

 劇物

 やけど

 噴射

 保護具着用

 分解禁止

 その他

 取扱説明書

目次

一般的注意事項

ここでは、本機を使用するにあたり注意していただきたい一般的な注意事項を示します。
作業要所での詳しい注意事項は、この後の各章で記載しています。

⚠ 危険

◆燃料を補給するときは、必ずエンジンを停止し２～３分間エンジンを冷却させてから、換気の良い場所で行ってください。
◆可燃性の液体（シンナーなど）やガスのある場所で使用しないでください。
☆点火プラグなどのスパークが爆発の原因になります。

◆燃料の補給中、燃料タンクの近くではタバコを吸ったり炎や花火などの火気を近づけないでください。
☆誤って引火しますと、爆発、火災の原因になります。

◆燃料をこぼさないように注意し、規定レベル以下に燃料を補給し、燃料キャップを確実に締めてください。
☆燃料キャップが締まっていないと、本機が転倒したときに燃料がこぼれて危険です。
☆燃料がこぼれたときは、すぐに布などで拭き取ってください。

◆酸素欠乏症や排気ガス中毒を防止するため、換気の良い場所に設置してください。
☆換気の悪い場所で使用しますと、酸欠で窒息する恐れがあります。
☆絶対に排気ガスを吸わないようにしてください。
☆やむを得ず室内で使用する場合には、充分な換気が行われていることを確認してください。

◆修理技術者以外は絶対に分解しないでください。
◆改造は絶対に行わないでください。
☆異常な動作の原因となり、ケガや故障の原因となります。

◆薬剤（薬品）を混合して使用する場合は、ガソリン・シンナーなどの有機溶剤や、強酸性溶剤・強アルカリ性溶剤、劇物、毒物などは絶対に使用しないでください。
☆思わぬ事故を招く原因になります。特殊な薬剤（薬品）などを使用される場合には、必ず販売店または弊社に問い合わせのうえ安全を確認してから使用してください。

◆ガンを絶対に人や動物、電気器具類に向けないでください。
☆誤って噴射すると大変危険です。
☆本機や他の電気器具、電源などに噴射すると、ショートしたり感電する恐れがあります。

⚠ 危険

◆運転中や停止直後は、エンジン本体やマフラーなどが大変高温になっています。使用後の部品交換・清掃・点検時は、必ずエンジンを停止し、2～3分間エンジンを冷却させてから行ってください。

☆火傷をする恐れがありますので、絶対に触れないでください。

◆ガンのトリガーを引いたままの状態で固定しないでください。

☆不意にエンジンを始動させたときに、高圧水が噴射され危険です。

◆硝子などの粉砕されやすい物に向けて噴射する場合は、充分注意して行ってください。

☆対象物が粉砕、破壊されて飛び散り大変危険です。

⚠ 警告

◆本書を事前によく読み、正しい取り扱い方法を充分にご理解のうえ、正しく操作してください。

◆本機を操作する前に、本書に記載されている「使用方法」の作業を行ってください。

◆間違いなく取り扱うため、各部の操作に慣れ、素早い停止方法を習得してください。

◆エンジンに関する取り扱い方法は、付属のエンジン取扱説明書にしたがってください。

◆本書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別販売品以外は使用しないでください。

☆事故や故障の原因になります。

◆本機を落としたりぶつけた場合は、破損・亀裂・変形などがないか点検してください。

☆破損・亀裂・変形などがある状態で作業を行うと、けがや事故の原因になります。

◆関係者以外は作業場所に近づけないでください。特にお子様には充分注意し、絶対に触らせないでください。

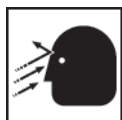
◆疲労・飲酒・薬物などの影響で、作業に集中できないときは、操作しないでください。

◆本機を操作しないときは、乾燥した場所で子供の手が届かない、又は鍵のかかる場所に保管してください。

◆結果の予測できない、また確信の持てない取り扱いはしないでください。

◆本機を使用目的以外の用途に使用しないでください
☆本機は高圧洗浄機です。対象物の洗浄や配管内の洗浄に使用してください。
◆噴射を停止してエンジンを切っても、ポンプ内や高圧ホースには残留した高圧水がありますので、一度トリガーを引いて内部の圧力を逃がしてください。
☆不意にトリガーが引かれると高圧水が噴射して危険です。

◆エンジンの排気口をふさいだり、周辺に物を置かないようにしてください。
☆火災の原因になります。

◆ガンの取り扱いには充分注意し、不意の噴射による事故防止に心がけてください。
◆本機から離れるときや、保守・点検のときにはエンジンを停止してください。
☆思わぬ事故の原因になります。

◆目を保護するために、必ず保護メガネを着用してください。
☆作業中は、ゴーグルなど保護メガネを着用してください。噴射水が砂や泥などと一緒に跳ね返ってくることがあり危険です。

◆作業場所は整理整頓し、いつもきれいな状態で充分な明るさを保ってください。
☆作業環境が悪いと事故の原因になります。

注意

◆泥水などは使用しないで、必ず清水を使用するようにしてください。
☆ポンプの故障やストレーナの詰まりの原因となります。
◆冬季など、0℃以下になる場所では、必ず水抜きを行ってください。また、0℃以上の屋内に保管するようにしてください。
☆ポンプが凍結して損傷する恐れがあります。
◆圧力調整は必ず所定の範囲内で行うようにしてください。
☆上げ過ぎや下げ過ぎは故障の原因になります。

◆本書のＰ１８『保守・点検』に従い、各部の保守点検を行ってください。
◆本機の異常（異臭・振動・異常音など）に気づいたときは、ただちに運転を停止し、本書のＰ２２『修理・サービスを依頼される前に』を参照してください。また、むやみに分解せず点検や修理を依頼してください。
☆修理はお買い上げの販売店または、弊社支店、営業所へお申し付けください。

⚠ 注意

◆運転中、ポンプより少量の水が漏れることがありますが、１分間に５滴程度までの水漏れは故障ではありません。

☆それ以上の水漏れが発生している場合には、販売店または弊社へ連絡してください。

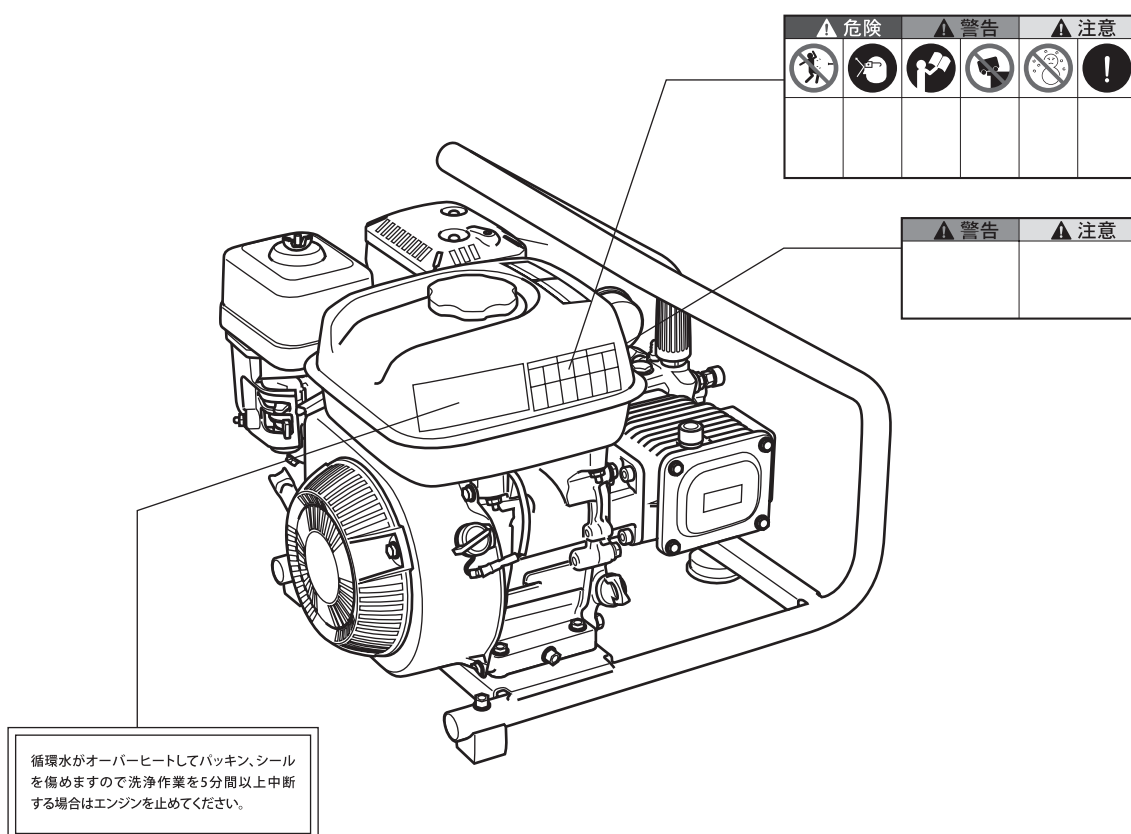
◆長期間（３０日以上）使用しない場合は、燃料を完全に抜いて保管してください。

☆上記を実施せず保管すると、エンジンが始動しないことがあります。

◆通常、エンジン始動後１０秒間程度で吸水します。それ以上経過しても吸水しない場合は、異常が想定されますので運転を中止して原因を調べてください。（Ｐ２２『修理・サービスを依頼される前に』を参照）

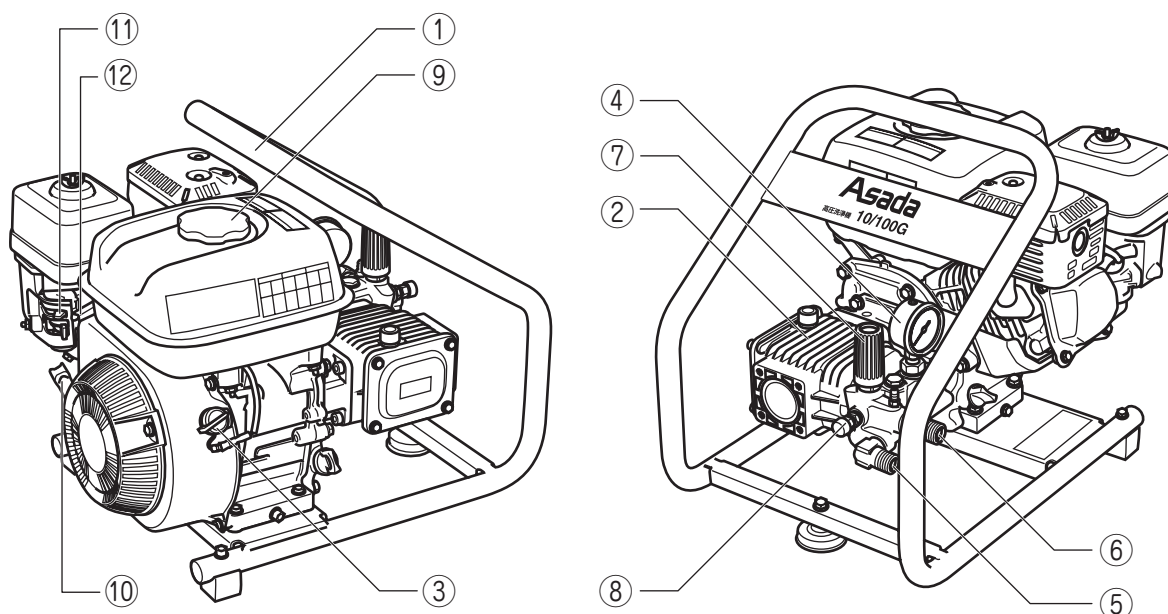
警告ラベルの貼付位置および内容

本機には、危険・警告・注意ラベルが貼付してあります。安全確保のための説明が書かれていますので、きれいに保ち、はがれたり見づらくなった場合には弊社へ請求してください。そして、必ず同じ場所に貼付してください。（図１）

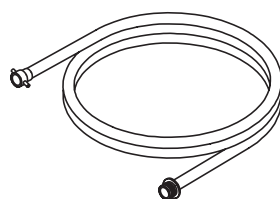
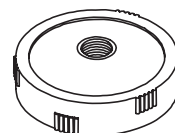
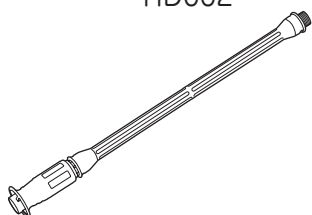
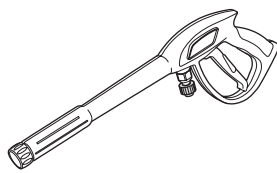
図 1. ラベルの貼付位置

1．製品構成

1－1）各部の名称・標準付属品（図２）

図 2. 各部の名称・標準付属品

●各部の名称

①フレーム
②ポンプ
③エンジンスイッチ
④圧力計
⑤吸水口
⑥吐出口
⑦アンローダバルブ
⑧エア抜きバルブ
⑨燃料給油キャップ
⑩始動グリップ
⑪チョークレバー
⑫エンジン回転調整レバー

●標準付属品

高圧ホース 1/4”×10m
HD002

吸水ホース 1/2”×3m
HD00121

ストレーナ
HD00122

バリアブルランス
HD00166

トリガーガン
HD22045

高圧洗浄機取扱説明書
IM0370

エンジン取扱説明書

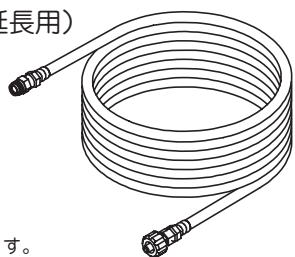
1－2）仕様

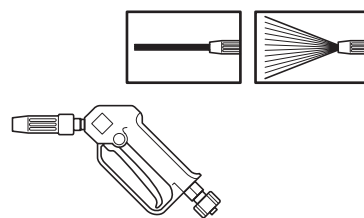
品　名		高圧洗浄機 10/100G
コード No.		HD1010G2
ポンプ	圧　力	10MPa（102kg/cm^2）
	水　量	10L/min
	吸込揚程	1m
エンジン	名　称	ホンダ GP160HQH1
	形　式	空冷 4 サイクル傾斜型 横軸 OHV ガソリンエンジン
	総排気量	163cc
	定格出力	2.9kW（4.0PS）
	最大出力	3.6kW（4.8PS）
	始動方式	リコイルスタータ式
	使用燃料	無鉛レギュラーガソリン
	燃料タンク容量	3.1L
高圧ホース延長距離		60m
大きさ		517 × 363 × 440mm
質　量		26kg
標準付属品		バリアブルランス、トリガーガン、ストレーナ、高圧ホース 1/4" × 10m、吸水ホース 1/2" × 3m、高圧洗浄機取扱説明書（本書）、エンジン取扱説明書

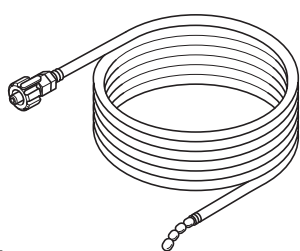
※仕様は予告なく変更する場合があります。

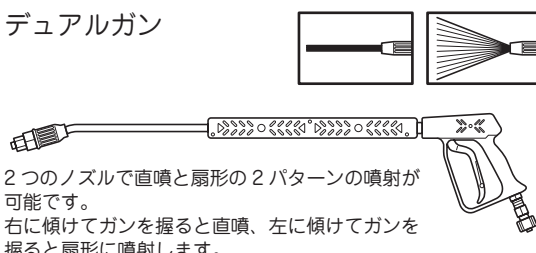
1－3）別販売品（図３）

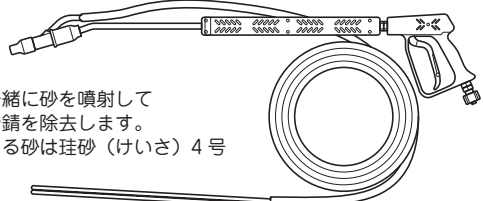
図 3. 別販売品

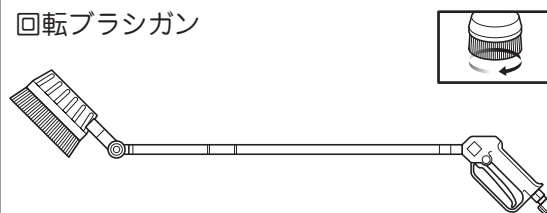
1/4” 高圧ホース（延長用）

高圧ホースの延長に使用します。

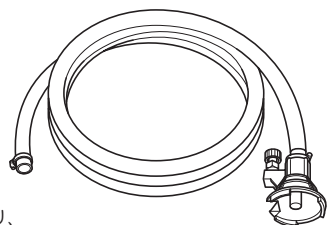
ハンドガン

タンク内などの狭い場所で使用します。

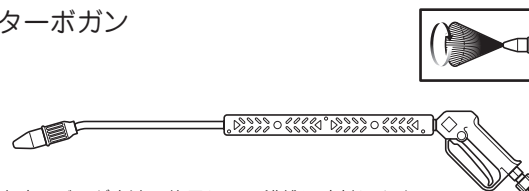
1/4” 洗管ホース

配管内の洗浄に使用します。

デュアルガン

2 つのノズルで直噴と扇形の 2 パターンの噴射が可能です。
右に傾けてガンを握ると直噴、左に傾けてガンを握ると扇形に噴射します。

サンドブラストキット

水と一緒に砂を噴射して
塗装や錆を除去します。
使用する砂は珪砂（けいさ）４号

回転ブラシガン

水圧でブラシが回転します。
タイルや窓ガラスなどのなめらかな面の洗浄に使用します。

残水処理キット

高圧水を流すことにより、
タンク・水槽などの残水をポンプのように排出します。

ターボガン

直噴ノズルが高速で旋回し、円錐状に噴射します。
強力で広範囲の洗浄に使用します。
木の皮はぎ、船底の貝殻落としなどにも使用できます。

品　名		コード No.
高圧ホース	1/4" × 20m	HD011
	1/4" × 30m	HD012
洗管ホース	1/4" × 10m	HD30014
	1/4" × 20m	HD30015
SUS 洗管ホース	1/4" × 10m	HD30016
	1/4" × 20m	HD30017
1/4"PU 洗管ホース	1/4" × 10m	HD38109
	1/4" × 20m	HD38110
1/4"PU 洗管ホース	1/4" × 10m	HD38111
	1/4" × 20m	HD38112

品　名	コード No.
ターボガン	HD10023
ハンドガン	HD22031
デュアルガン	HD22032
回転ブラシガン	HD008
サンドブラストキット	HD450
残水処理キット	HD22033

２．使用方法

２－１）洗浄作業前の準備

２－１－１）使用環境

次の使用環境を充分考慮して、『洗浄作業前の準備』・『運転』を行ってください。

●直射日光があたる場所、雨中、内部に水が入りやすい場所では使用しないでください。

●本機は排気ガスを出します。密閉された部屋で使用しないでください。また、やむを得ず屋内で使用する場合には吸排気口(吸排気ファン)を取り付けてください。

●ガソリンなどの可燃物が存在する付近では使用しないでください。

●本機を設置して使用する場合には、保守・点検が容易に行える場所に設置してください。

●使用する燃料は、必ず新鮮な自動車用レギュラーガソリンを使用してください。

●各ホース類や接続部に異常がないことを確認してから運転するようにしてください。

２－１－２）設置

注意

◆換気が不十分な場所、オイルや燃料漏れのある場所、引火性ガスがある場所などには、絶対に設置しないでください。

◆本機は重量物です。フォークリフトなどで運搬するようにし、人力での上げ下げや吊金具での吊り下げは行わないでください。

●設置する床が丈夫で水平であり、水はけの良い場所に設置ください。

●ガソリンなどの可燃物が置かれているような建物や、有毒ガスが発生する場所等には設置しないようにして下さい。

２－１－３）燃料の補給

危険

◆燃料を補給するときは、必ずエンジンを停止し２～３分間エンジンを冷却させてから、換気の良い場所で行ってください。

◆ガソリンの補給後は、タンクキャップを確実に締めてください。

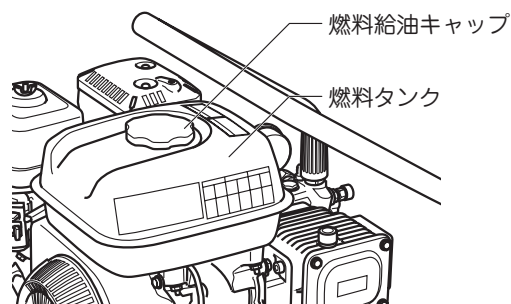
☆漏れたガソリンに引火し、火災・爆発をおこす恐れがあり危険です。

◆入れすぎは危険ですので、規定レベルよりやや控えめにに入れてください。

◆燃料の補給は、火気のない状態で行ってください。

☆ガソリンの補給中は、付近でタバコを吸っている人など火気がないことを確認してください。引火し、火災・爆発をおこす恐れがあり危険です。

●本機を購入した直後は燃料タンクに燃料が入っていません。エンジン取扱説明書にしたがって、ガソリンを補給してください。（図４）
●燃料は新鮮な自動車用レギュラーガソリンを使用してください。
●燃料を補給する場合は必ずエンジンを停止した状態で周囲に火気がないことを確認してください。
●万一燃料が周囲にこぼれてしまった場合は、必ず拭きとってください。

図 4. 燃料タンク

２－１－４）エンジンオイルの確認

●本機のエンジンオイルは、出荷時に給油されています。初めて運転する場合には、念のためエンジン取扱説明書にしたがって、エンジンオイル量の確認を行ってください。（図５）
●エンジンオイルが不足している場合は、エンジン取扱説明書にしたがって補給してください。
●また、エンジンオイルが汚れたり白濁化している場合は、エンジン取扱説明書にしたがって交換してください。
●出荷時に給油されているエンジンオイルはＳＡＥ１０Ｗ－３０クラス品です。このエンジンオイルは、低温時（気温が－２０℃）から高温時（気温が４０℃）まで広範囲で使用できますが、特に低温・高温地域でご使用の場合には、図６を参照してエンジンオイルを選定してください。

図 5. エンジンオイル量

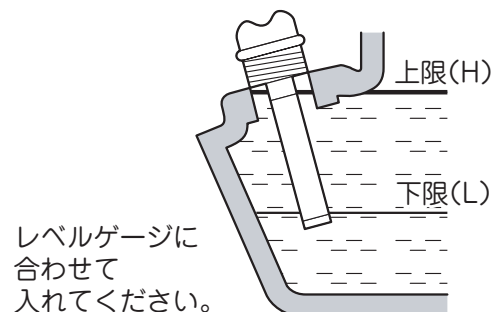
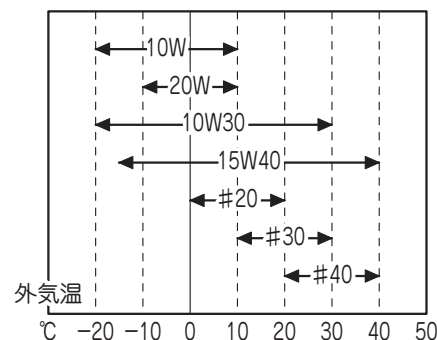
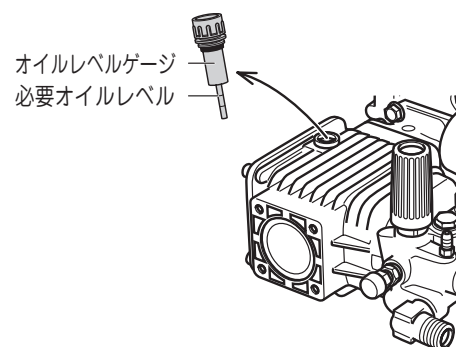



図 6. 潤滑油粘度表（SAE 分類）

２－１－５）ポンプオイルの確認

●本機のポンプオイルは、出荷時給油されています。初めて運転する場合には、念のためオイルレベルゲージでポンプオイルが適正量給油されていることを確認してください。（図７）

図 7. ポンプオイルの確認

●ポンプオイルが不足している場合は、補給してください。
●また、ポンプオイルが汚れたり白濁化している場合は交換してください。
●出荷時に給油されているポンプオイルはエンジンオイルと同じＳＡＥ１０Ｗ－３０クラス品です。補充・交換される場合は図６にしたがって、最適なエンジンオイルを選定してください。

２－１－６）ホース類の接続

◆泥水などは絶対に使用せず、必ず清水を使用してください。
☆ポンプの故障やストレーナの詰まりの原因となります。
◆接続は確実に実施してください。
☆接続が不充分である場合、高圧水が噴出して危険です。
◆接続時に、各金具に取り付けられているパッキン類に損傷がないことを確認してください。
☆パッキン類に損傷がある場合、能力が発揮されないだけでなく、高圧水が噴出して危険です。
◆高圧ホースを接続したまま、強く引っ張らないでください。
☆接続部がゆるんで圧力漏れの原因になります。

①吸水ホースをストレーナと接続してください。（図８）
☆ストレーナは、完全にタンク内に沈めて、空気を吸わせないようにしてください。
空気を吸ってしまうと、充分な能力が発揮されません。（図９）

図 8. ストレーナの接続

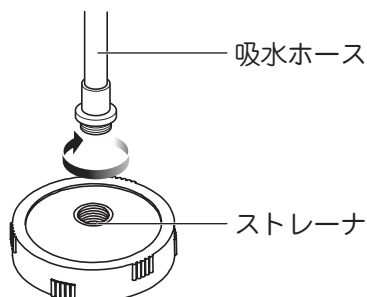



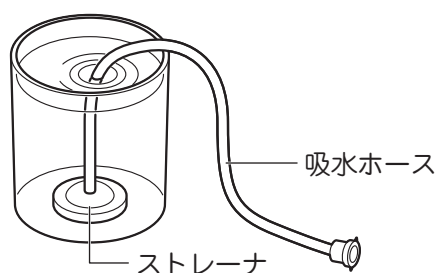
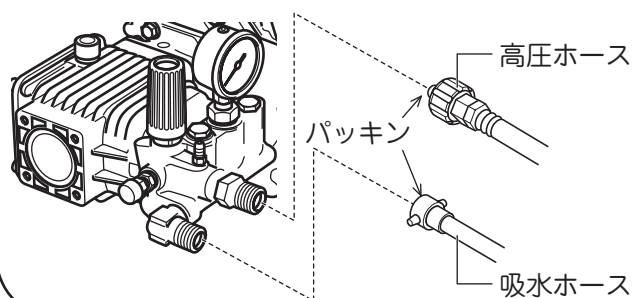
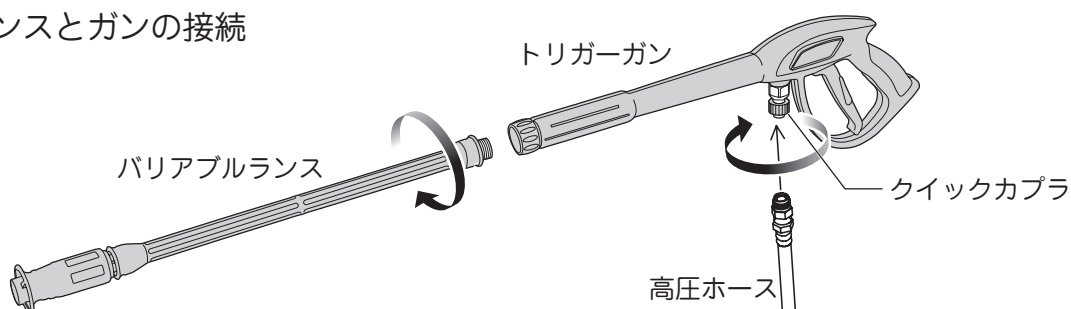
図 9. ストレーナの使用方法

②吸水ホースを本体の吸水口へ、高圧ホースを本体の吐出口へ確実に接続してください。（図１０）
☆吸水ホース金具にパッキンが入っていることを確認してください。
パッキンが入っていないと吸水しません。

図 10. ホース類の接続

２－１－７）ガンの接続

⚠ 危険

◆接続は確実に実施してください。
☆接続が不充分である場合、高圧水が噴出して危険です。
◆ガンのトリガーを引いたままの状態で固定しないでください。
☆不意のエンジン始動時に高圧水が噴射され危険です。

①図１１にしたがってバリアブルランスとトリガーガンを接続してください。
②トリガーガンに高圧ホースを差込、クイックカプラで確実に接続してください。

図 11. ランスとガンの接続

☆用途に合わせて他のガンやキット（別販売品）をご利用いただきますと、幅広い洗浄作業が可能となります。（Ｐ１０『別販売品』を参照）

２－２）運転

⚠ 危険

◆目を保護するために、必ず保護メガネを着用してください。

☆作業中は、噴射水が砂や泥などと一緒に跳ね返ってくることがあります。
◆通常、エンジン始動後１０秒程度で吸水します。それ以上経っても吸水しない場合は、異常が想定されますので、運転を中止して原因を調べてください。（Ｐ２２『修理・サービスを依頼される前に』を参照）

◆作業前には、高圧ホース、トリガーガン、バリアブルランスなどの各付属品を点検してください。
☆これらの付属品に損傷があった場合、損傷部分から高圧水が噴射され、思わぬ事故を招く恐れがあります。また、洗管ホース（別販売品）に損傷があった場合、作業中に先端部が破損し、パイプ内に部品が残ってしまう場合があります。

◆ガンを絶対に人や動物、電気器具類に向けないでください。
☆本機や他の電気器具、電源などに噴射すると、ショートしたり感電する恐れがあります。

⚠ 危険

◆ガンのトリガーを引いたままの状態で固定しないでください。
☆エンジン始動時に不意に高圧水が噴射され危険です。
◆ガラスなどの粉砕されやすい物に向けて噴射する場合は、充分注意してください。
☆対象物が粉砕、破壊され飛び散る恐れがあり大変危険です。

２－２－１）初めて使用する場合

新しいうちは各部がなじんでいませんので、無理な使い方をすると洗浄機の寿命を短くします。運転開始後約２０時間までは慣らし運転期間として次のことを守ってください。

①始動後、約２～３分間はエンジンが温まるまで暖機運転を行ってください。
②慣らし運転期間は、エンジンに無理な負荷がかからないようにし、過負荷運転はさけてください。
③運転開始後約２０時間目のエンジンが暖かいうちに、第１回目のオイル交換を行ってください。
☆オイル交換はエンジンが暖かいうちに行わないと古いオイルが完全に排出されません。
④その後のオイル交換は約５０時間ごとに行ってください。

２－２－２）始動方法

①ポンプのエア抜きバルブを反時計方向に約１回転ゆるめてください。（図１２）
②エンジンを始動させてください。
☆エンジンの始動方法はエンジン取扱説明書にしたがってください。
③エンジンが始動したら、エア抜きバルブから水が流れ出るのを確認してください。（図１３）
☆水が出たことでポンプ内のエアが抜けたことになります。
④ポンプのエア抜きバルブを時計方向に回し確実に締めてください。（図１４）
☆始動作業が完了し、洗浄作業が行える状態です。

図 12. エア抜き作業 1

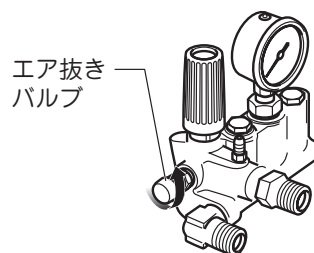
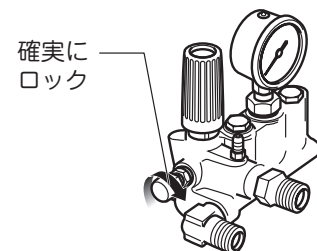



図 13. エア抜き作業 2

図 14. エア抜き作業 3

２－２－３）圧力調整の方法

危険

◆規定圧力以上に上げないでください。本製品の最高吐出圧力は 10MPa です。（P9『仕様』を参照）

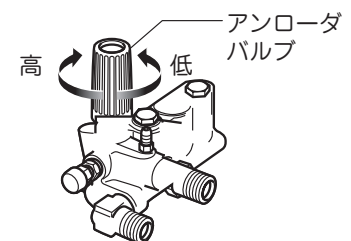
☆ポンプ、高圧ホースなどの破損につながり、破損した破片や高圧水でけがをする恐れがあります。

①圧力を上げるには、圧力調整ノブを時計方向に回し、圧力を下げるには反時計方向に回してください。（図１５）

☆圧力を下げすぎますと、圧力調整ノブが抜けますので注意してください。

☆本製品は出荷時に最高吐出圧力に設定してあります。

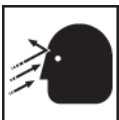
☆エンジンのスロットルレバーを低速側に戻すことにより、吐出水量を減らして圧力を下げることも可能です。

図 15. 圧力調整

２－２－４）ガンの操作方法

警告

◆絶対にひもや針金でトリガーを引いた状態のまま固定しないでください。

☆不意のエンジン始動時に高圧水が噴射され危険です。

◆運転作業中以外は、トリガーのストッパーレバーを使用し、不意にトリガーが引かれることのないようにしてください。

☆転倒などした場合に誤って噴射されることを防ぎます。

◆ノズル先端をのぞき込まないでください。

☆不意の噴射で失明する恐れがあります。

①バリアブルランスのノズルボディー（黒いプラスチック部分）を、手前に引くと高圧噴射に、前方に押すと低圧噴射になります。また、ノズルボディーを左右に回すことで噴射角度が０°～５０°まで無段階に調整が可能です。（図１６）

②運転作業中以外は、トリガーのストップレバーを使用して、トリガーをロックしてください。（図１７）

図 16. ガンの操作方法

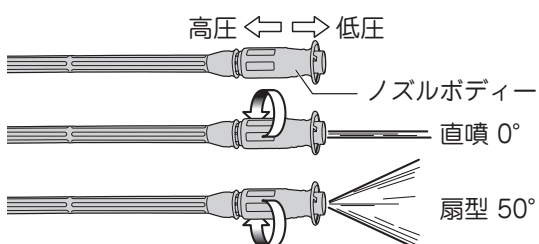
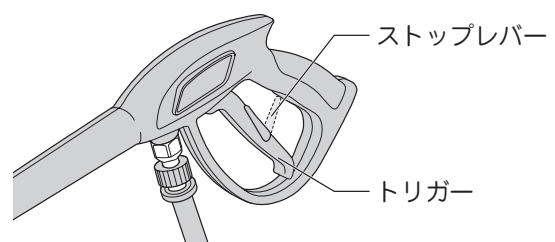
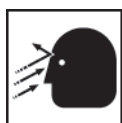



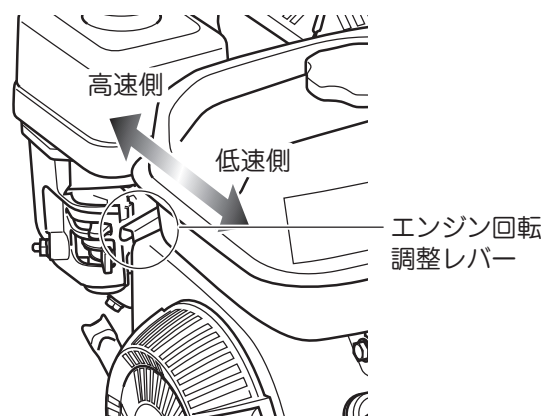
図 17. ガンのロック

２－２－５）洗浄作業

警告

◆ゴーグルなどの保護メガネを着用してください。
☆噴射水が、砂と泥などと一緒に跳ね返ってくることがあります。
◆高圧噴射を行う際は、噴射水の反動に注意してください。
☆しっかりとガンを保持しないと、噴射と同時にガンが急に跳ね上がります。
◆ノズル先端をのぞき込まないでください。
☆不意の噴射で失明する恐れがあります。

◆人や動物に噴射口を絶対に向けないでください。
☆けがをする恐れがあります。

◆本機はアンローダバルブによってトリガーを放しても、ポンプに負担がかからない状態になりますが、５分以上使用しない場合はエンジンを停止してください。
☆ポンプの寿命を縮めるだけでなく、不意にトリガーを引かれると危険です。

①エンジンが始動しましたら、エア抜きバルブから水が出ていること（図１３）を確認した後､エア抜きバルブをしっかり閉じて（図１４)､暖気運転を２～３分行ってください。その際ポンプやガンなどの接続部から水漏れがないことを確認してください。
②エンジンのスロットルレバーを高速側にしてください。（図１８）
③ガンをしっかり持ち、対象物に向けてトリガーを引き噴射してください。
＊噴射が安定するまでしばらく放水してください。安定したら洗浄作業が可能です。その際、各接続部から水漏れが発生していないか確認してください。
④洗浄作業を一旦停止したい場合はトリガーを放してください。
＊必要に応じて圧力調整をおこなってください。
＊対象物に合わせて、ガンの噴射角度を調整してください。
＊トリガーは必要以上に操作しないで下さい。
＊洗浄作業をしない状態でポンプのみ運転されますとポンプが高温になります。５分以内に次の洗浄作業を行って下さい。

図 18. エンジンの出力調整

2－2－6）作業の終了

⚠危険

◆噴射後エンジンを停止しても高圧ホース内に高圧水が残っていますので、トリガーを引いて残圧を抜いてください。
☆不意にトリガーが引かれた際、高圧水が噴射され危険です。
☆残圧が残っていると機械が始動しないことがあります。
◆洗浄作業中はエンジンを停止しないでください。必ず、１～２分程度の無負荷運転を実施してから、エンジンを停止させてください。
☆作業中にエンジンを停止させますと、急激にエンジンの温度が上昇し、本機の寿命が短くなります。
◆空運転は３０秒以上行わないでください。
☆ポンプが破損する恐れがあります。

①作業が終わりましたらトリガーを放し噴射を停止してください。
②１～２分程度、無負荷で低速運転させたのちエンジンを停止してください。
③タンクから吸水ホースとストレーナを取り出してください。
④一度ガンのトリガーを引いて、高圧ホース内の圧力を逃がし、ガンを取り外してください。
⑤再度エンジンをかけ、低速状態での空運転を実施してください。
＊ポンプ内、ホース内の水が排出されます。
＊空運転は３０秒以上行わないでください。水の排出が完了したら速やかにエンジンを停止してください。
⑥ポンプから高圧ホース、吸水ホースを取り外してください。

３．保守・点検

⚠危険

◆作業終了直後に保守・点検を行わないでください。ポンプ、エンジン共に高温になっており火傷をします。
◆修理技術者以外は絶対に分解しないで下さい。
◆改造は絶対に行わないで下さい。

高圧洗浄機をいつも調子よく使い、長持ちさせるためには日常の手入れが大切となります。点検時間は次ページの定期点検表にしたがって励行してください。●印は技術や特殊工具が必要ですので、お買い上げの販売店や弊社営業所に問い合わせください。

定期点検表

運転時間 項　目	毎日	20 時間ごと	50 時間ごと	100 時間ごと	200 時間ごと	500 時間ごと
各部ボルトナットの点検・締め付け	○					●
エンジンオイルの点検・補充	○					
エンジンオイルの交換		○ ※ 1	○ ※ 2			
ポンプオイルの点検・補充	○					
ポンプオイルの交換			○ ※ 1		○ ※ 2	
油漏れの点検	○					
エアクリーナの清掃		○ 25 時間ごと （ホコリの多い場所で運転する場合は、早めに清掃する）				
点火プラグの点検・清掃			○			
気化器の点検・清掃				●		
吸排気弁隙間調整						●

※ 1：第 1 回目　　※ 2：第 2 回目

３－１）エンジンの点検

●エンジンオイル交換、点火プラグのメンテナンスなどのエンジンに関する保守・点検は付属のエンジン取扱説明書に従ってください。異常がある場合はお買い上げの販売店、もしくは弊社営業所までお問合せください。

３－２）ポンプオイルの点検（図１９）

●ポンプのオイルレベルゲージでオイルの色を確認してください。白濁・変色している場合は、交換時期に達していなくてもポンプオイルを交換してください。

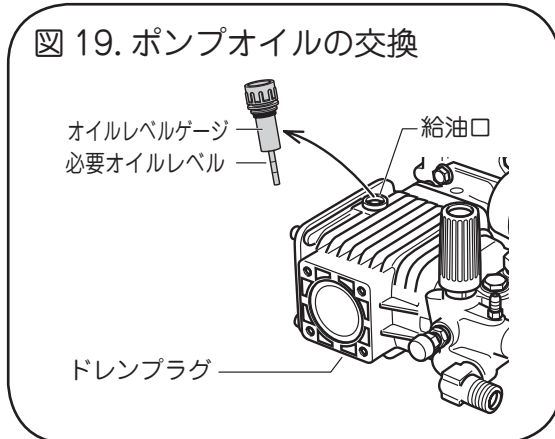
●ポンプの下にオイル受けを用意し、ポンプ下側のドレンプラグを取り外してポンプオイルを抜いてください。

●オイルが抜けましたら、ドレンプラグを確実に締め、給油口からオイルを入れてください。

図 19. ポンプオイルの交換

オイルレベルゲージ
必要オイルレベル
給油口
ドレンプラグ

☆オイル交換の時期、オイルの種類は下表に従ってください。

ポンプオイル交換時期	1 回目	運転 50 時間後
	2 回目以降	運転 200 時間後
オイルの種類		4 サイクルエンジンオイル SAE-10W30 または SAE30 番のいずれかのグレード

３－３）ストレーナの点検（図２０）

●本機には、水の中に含まれているゴミなどを取り除くために、吸水ホースのストレーナを設けています。ストレーナが詰まると下記のような症状が発生しますので、定期的に点検し、清掃してください。

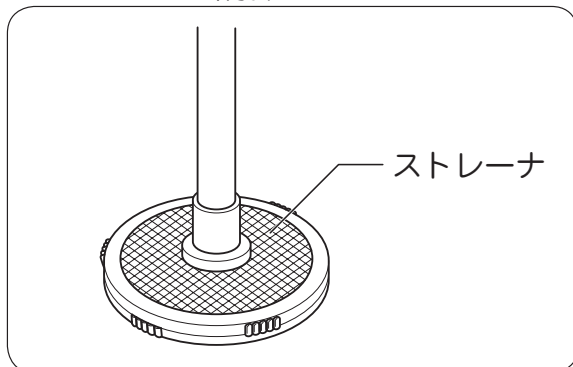
・まったく吸水しない。または、断続的に吸水している。

・高圧ホースが異常に振動する。

・圧力が規定値まで上昇しない。または安定しない。

●点検・清掃除はストレーナの金網を損傷させないように慎重におこなってください。万一損傷がある場合は、必ず新品と交換してください。

●長期間（1ヶ月以上）使用しなかった場合は、使用前にストレーナを清掃・点検してください。

図 20. ストレーナの清掃

３－４）ノズルの清掃

●全く水が噴射されない、噴射量が少ない、圧力が異常に高いまたは低い、真っ直ぐ噴射されないなどの症状はノズルの詰まりが予想されます。

●ノズルは消耗品です。他の部品に異常がなく、圧力が低い場合はノズルの交換が必要と考えられます。交換頻度は、使用時間、水道水のミネラル類の含有物によって異なりますが、およそ圧力が規定値の８５％以下になったら交換が必要です。

●下記に従ってノズルを清掃してください。（図２１）

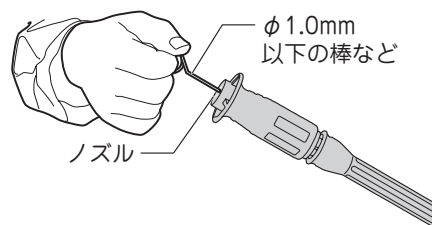
①トリガーガンからバリアブルランスを取り外します。

②ノズル穴にΦ１．０ｍｍ以下の棒などを差し込んで、回しながら詰まりを取り除いてください。

③ノズル先端部から水などを流し込んで、完全に異物を取り除いてください。

④再度トリガーガンとバリアブルランスを組み付けて運転し、異常がないことを確認してください。

⑤上記作業を行っても不具合が解消されない場合は、お買い上げの販売店もしくは弊社販売店までお問い合わせください。

図 21. ノズルの清掃

３－５）その他の点検作業

●高圧ホースの損傷、接続部の緩みなどを常に点検してください。また、必要に応じて新品と交換、またはお買い上げになった販売店などにご連絡してください。

●高圧ホースやトリガーガンなどの接続部分に組み込まれている O リングやバックアップリングに損傷がないことを確認してください。

4．修理・サービスを依頼される前に

●高圧洗浄機の調子が悪いときは、修理・サービスを依頼される前に、次の順序で点検を行ってください。点検された上で、なお異常のある場合や不安定な箇所がありましたら、そのままの状態にして、お買い上げの販売店または弊社営業所へご相談ください。

<table>
<tr><th>状　況</th><th>原　因</th><th>処　置</th></tr>
<tr><td rowspan="6">吸水しにくい。
吸水しない。</td><td>・吸水ホースのストレーナが完全に水中に沈んでいない。</td><td>・ストレーナを完全に水中に沈める。
・清水を補給する。</td></tr>
<tr><td>・ストレーナの目詰まり。</td><td>・ストレーナを清掃する。</td></tr>
<tr><td>・吸込み揚程が大きすぎる。</td><td>・吸込み揚程を 1m 以内にする。</td></tr>
<tr><td>・吸水ホースの接続不良。</td><td>・ホースの接続を確実にする。
・パッキンを確認する。</td></tr>
<tr><td>・吸水ホースの損傷。</td><td>・吸水ホースを交換する。</td></tr>
<tr><td>・吸水・吐出バルブの作動不良。
・ゴミの詰まり。</td><td>・バルブの点検・清掃を行い、必要であれば交換する。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">圧力が上がらない。</td><td>・ストレーナの目詰まり。</td><td>・ストレーナを清掃する。</td></tr>
<tr><td>・吸水ホースの接続不良。</td><td>・ホースの接続を確実にする。
・パッキンを確認する。</td></tr>
<tr><td>・吸水・吐出バルブの作動不良。
・ゴミの詰まり。</td><td>・バルブの点検・清掃を行い、必要であれば交換する。</td></tr>
<tr><td>・プランジャパッキンの損傷。</td><td>・プランジャパッキンを交換する。</td></tr>
<tr><td>・不適切なガン、ノズルを使用。</td><td>・適切なガン、ノズルを使用する。</td></tr>
<tr><td>・ノズル穴の磨耗。</td><td>・ノズルを交換する。</td></tr>
<tr><td>・圧力調整の不良。</td><td>・圧力調整を行う。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">圧力が安定しない。</td><td>・吸水ホースのストレーナが完全に水中に沈んでいない。</td><td>・ストレーナを完全に水中に沈める。
・清水を補給する。</td></tr>
<tr><td>・ストレーナの目詰まり。</td><td>・ストレーナを清掃する。</td></tr>
<tr><td>・吸水ホースの接続不良。</td><td>・ホースの接続を確実にする。
・パッキンを確認する。</td></tr>
<tr><td>・吸水・吐出バルブの作動不良。
・ゴミの詰まり。</td><td>・バルブの点検・清掃を行い、必要であれば交換する。</td></tr>
<tr><td>エンジンが始動しない。</td><td colspan="2">・エンジン取扱説明書を参照してください。</td></tr>
</table>

●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号:

購入年月日:　　　年　　　月

お買い求めの販売店:

Asada アサダ株式会社

本　社／名古屋市北区上飯田西町3-60　TEL（052）911-7165　E-mail：sales@asada.co.jp

支　店／東京・名古屋・大阪

営業所／札幌・仙台・さいたま・横浜
広島・福岡

www.asada.co.jp

海外事業所

アサダ・タイランド社（バンコク）
台湾浅田股份有限公司（台北）
アサダ・アーロンコ マシナリー社（クアラルンプール）
アサダ・ベトナム社（ホーチミン）
アサダ・インド社（ムンバイ）
上海浅田進出口有限公司（上海）
アサダ USA（オレゴン州・ユージン）

工　場

犬山工場（愛知県・犬山市）
第一精工株式会社（松阪市）
アサダ・マシナリー社（バンコク）

コードNo. IM0370　SU